

日本海を越えていく



錦 秋

校長 佐藤雅秀

錦秋とはよく言ったもので、まさに各地では紅葉が真っ盛り。連日、テレビでは紅葉情報を放映しています。山々が赤や黄、橙色に着飾り、文字通り錦を成している様子を見ていると、心が和み、晴れやかな気持ちになります。山が青々と生命力を誇示している姿も迫力があって好きですが、肌寒くなった今頃に見る紅葉は、得も言わぬ感動があります。ここ粟島もうつすらと色づきはじめ、紅葉の見頃をこれから迎えようとしています。粟島で迎える紅葉のシーズンが今から楽しみです。

きれいな紅葉の条件として、

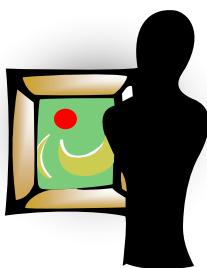
- ① 最低気温が6~8度くらいまで下がること。
- ② 日中は太陽がよくあたり気温が上がること。
- ③ 夜から明け方にかけて気温がぐっと下がること。



が挙げられています。つまり、朝晩と日中の寒暖差が激しいこの時期の産物が紅葉という訳ですね。

紅葉は、木が冬眠するための準備です。木は葉があるとせっせと光合成を行って栄養を作り続けてしまい、冬眠ができません。そのために木は、枝と葉の間に壁をつくり、水を葉に送らないようにします。その壁を作っている最中に葉の緑色が失われ、隠れていた黄色が見えてくる。これが葉が黄色に色づく要因です(イチョウなど)。赤い葉は、葉に残った栄養で新しく赤色が作られます(モミジなど)。葉によって持っている色の基が違うから、様々な色に変化し、錦をつくっているのですね。そして、木は壁を作り終えると葉を落として(落ち葉)冬眠に入り、春に芽吹くための準備に入ります。植物界だけでなく動物界にも冬眠する動物がいます。冬眠は厳しい冬をじっと耐え、体力を温存し、春に始動するための準備をする期間です。

さて、人間界はどうでしょうか。自然界と違って冬眠はありませんが、摂理は自然と同様です。常に100%で活動し続けることはできませんので、必ず「休養」が必要です。休養には、文字通り「休」と「養」の二つの側面があります。1つ目は「休む」で、日常の活動によって生じた心身の疲労を回復し、元の活力ある状態に戻すという側面です。2つ目は「養う」で、明日に向かっての鋭気を養い、身体的、精神的、



社会的な健康能力を高めるという側面です。人間は自然界と違って、疲れたなと感じたら、休養をとるという自己判断ができます。10月20日に当校体育館で、学校保健委員会主催による睡眠についての講演が開かれました。睡眠の質向上に向けて自分たちでできることを考えるとともに、生活習慣を見直す一助となる講演でした。睡眠もまた大事な休養です。心身をリセットするためにも質の良い睡眠を目指してもらいたいものです。

文化の秋です。音楽や書籍、芸術作品と大いに触れ合ってみませんか。触れ合ふことで共感力や創造力、表現力を培うことができます。また、これら芸術作品や伝統芸能には、見聞きするだけで脳をリラックスさせ、心を癒やす効果があります。疲れた脳や体に滋養を与える絶好の季節である秋を満喫しましょう。

エルデネ村の方々がやってきました ~モンゴル・エルデネ村との交流の様子~



10月20日にモンゴルからエルデネ村の村長さん、生徒、先生方の一一行が粟島浦小中学校を訪問しました。当校とエルデネ村との交流は5年目となります。コロナ禍を乗り越え、今年度は、直接訪問してもらう運びとなりました。エルデネ村の生徒たちは、歌や踊りが披露され、粟島浦の子どもたちも島っこソーランを披露しました。帰り際、気付くと、みんなとっても仲良し。もっともっと仲良くなりたいオーラに包まれていきました。言葉の壁なんてなんのその。笑顔で接し、優しさあふれる子どもたちの姿に驚き、感動してしまいました。これからも続く交流が本当に楽しみです。



実りの秋！大豊作です！！～さつまいも収穫作業の様子～

10月12日に小学生が保育園児とさつまいもの収穫を行いました。春に小学生と保育園児が一緒に植え、一生懸命に育ててきました。掘り始めると大きなさつまいもが顔を出し、周りは大きな歓声と笑顔に包まれました。実りの秋、収穫の喜びを感じながら楽しい一時を過ごしました。大きく育ったさつまいも、美味しいといただく日が楽しみですね。



わっぱ煮で絆を深めました

～親子わっぱ煮会の様子～

10月15日に親子わっぱ煮会を開催しました。雨がちらつく肌寒い天候でしたが、参加者の熱気でそんなことは何処へやら、楽しい一時となりました。わっぱ煮の主役である魚釣りから始まり、魚の下ごしらえや石拾いと火の準備、野菜や味噌を加えて盛り付けと、手際よく準備が進みます。粟島の伝統料理であるわっぱ煮を自分たちで作り、みんなで粟島の恵みを味わう。自然と笑みがこぼれ、充実感に満ち溢れた一日でした。なかなか体験できない素敵な時間をこれからも大切にしていきます。



「子どもの話の聴き方」を学びました ～PTA主催家庭教育講演会の様子～



10月23日にPTA主催の家庭教育講演会が開催されました。昨年度に引き続き当校のスクールカウンセラーである遠山修子先生をお招きし、「愛する我が子との関わり方」を演題に、ワークショップを交えながら行いました。ワークショップではペアとなり、傾聴の基本である「相手の話を聞いて、理解したことを伝え返す」実践を行いました。理解したことを伝え返すことで子どもは否定された感じを受けず、それが安心につながります。また、傾聴時の相手への体の向け方、相づち、話を聞くポイントなどを御自身の経験を踏まえて分かりやすくお話をされました。



今後の予定として、今年度最後の遠山先生によるカウンセリングが、11月27日(月)に予定されています。後日、御案内させていただきますのでよろしくお願ひいたします。

勉強にも全力投球です！

～放課後学習会・テスト勉強計画作成の様子～



11月16・17日に中学校では、2学期期末テストが予定されています。先日の学級活動の時間にテストに向けた学習計画を立てました。文化祭の準備や日々の活動に忙しい生徒たちですが、勉強に目を向け、自分の目標を設定し計画を立てる姿は、当たり前ですが立派です。また、3年生は、受検に向け放課後勉強会を行っています。自分の進路の実現に向け、時間を大切に勉強に没頭する姿があります。日々の努力が目標達成という大きな花を咲かせると信じています。



文化祭の準備に燃えています！

～文化祭準備の様子

文化祭が間近にせまってきました。それと同時に子どもたちの準備にもより一層熱が入ってきました。合唱や劇、作品づくりと子供たちは毎日を全力で過ごしています。

今年度の文化祭スローガン「届けよう！個性と笑顔の宝物」のもと、自分たちのもっている想いをそれぞれが表現し、とびっきりの笑顔で伝えます。校舎をまわっていて思うのですが、いつも一生懸命で、見ているだけで感動が伝わってきます。とっても素敵な感動あふれる文化祭になると確信しています。御来場を心よりお待ちしています。

